

メンテックワールド社長 小松節子のハートフルメッセージ④



女性が活躍する会社に

広島県は保守王国として知られ、製造業の世界でも男尊女卑の傾向がまだまだ強いのが実情です。こうした中、私自身が女性ということもありませんが、女性の活躍の場を作りたい、と女性の採用に積極的に取り組んできました。現在、全社員に占める女性社員の割合は2割です。製造業ではその割合は多い方で、女性社員の7人を管理職に登用しています。

今回のコロナ禍で、女性の力を確認したことがあります。それは決断力と実行力に優れていたことです。男性の場合はどうしても周囲に付度そんたくをすることが働いて、緊急時には決断力を鈍らせる傾向にありました。でも、女性は付度するようなことはなく、スパッと物事を決めていました。女性がリーダーの国が、男性がリーダーの国よりも、新型コロナウイルスの感染拡大を抑えていたのも、そのことに起因しているのかな、と思っています。

将来的には、女性の役員登用も考えています。弊社では海外10カ国で現地法人を設立することを目指していますが、女性社長の会社があってもいいかな、と思っています。もちろん、女性だからと特別扱いはしません。上になる人は周囲が納得しないと長続きしませんからね。